

御所浦島周辺海域および八代海の魚類報告 (その2)

鵜飼 宏明¹・長井 雄一²・友田 玉洋³

- (1 天草市立御所浦白亜紀資料館 〒866-0313 熊本県天草市御所浦町御所浦 4310-5)
(2 豊漁丸 〒866-0334 熊本県天草市御所浦町牧島)
(3 漁栄丸 〒866-0313 熊本県天草市御所浦町御所浦)

Report of Marine fish in Yatsushiro Sea and waters of the Goshoura Islands, Kumamoto Prefecture, Japan (Part 2)

Hiroaki Ugai¹, Yuichi Nagai² and Tamayo Tomoda³

- (1 Goshoura Cretaceous Museum, Goshoura 4310-5, Goshoura Town, Amakusa City, Kumamoto 〒866-0313, Japan)
(2 Horyomaru, Makishima, Goshoura Town, Amakusa City, Kumamoto 〒866-0334, Japan)
(3 Ryoeimaru, Goshoura, Goshoura Town, Amakusa City, Kumamoto 〒866-0313, Japan)

はじめに

天草市御所浦町で採集された魚類は 2004 年から 2006 年 1 月までに採集された軟骨魚類 11 種, 硬骨魚類 155 種が報告されている(鵜飼ほか, 2006). 本研究は 2006 年 2 月から 2010 年 2 月までに五智網漁および海岸で鵜飼ほか(2006)で報告されていない種をはじめ, 鵜飼ほか(2006)の報告後, 標準和名が変更した種, 状態の良い標本が得られた種, 同定の変更をした種について報告する.

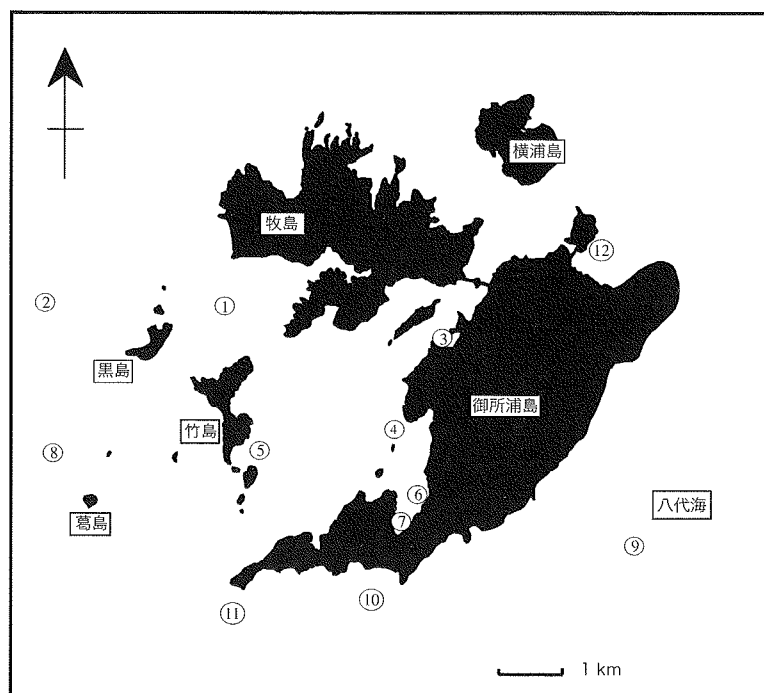


図 1. 魚類標本の採集場所

- (①長浦沖, ②黒島沖, ③本郷港, ④唐木崎沖, ⑤竹島周辺, ⑥元浦港,
⑦大浦港, ⑧葛島沖, ⑨水俣灘, ⑩兔鼻沖, ⑪ノサバ沖, ⑫前島沿岸)

表 1. 八代海および御所浦町周辺海岸の海産魚類リスト

軟骨魚綱 Chondrichthyes						
標本 Specimen	目 Order	科 Family	学名 Scientific name	採集場所 Locality	採集日 Date	
ナガサキトラザメ	ネズミザメ目 Lamniformes	トラザメ科 Scyliorhinidae	<i>Halaalurus buergeri</i> (Müller et Henle)	外平沖	2008.8.20	
シロザメ		ドチザメ科 Triakidae	<i>Mustelus griseus</i> Pietschmann	黒島沖	2008.11.12	
硬骨魚綱 Osteichthyes						
標本 Specimen	目 Order	科 Family	学名 Scientific name	採集場所 Locality	採集日 Date	
マアナゴ	ウナギ目 Anguilliformes	アナゴ科 Congridae	<i>Conger myriaster</i> (Brevoort)	兎鼻沖	2006.2.17	
フウライウオ	ヨウジウオ目 Syngnathiformes	カミソリウオ科 Solenostomidae	<i>Solenostomus paradoxus</i> (Pallas)	竹島周辺	2010.1.10	
キアンコウ	アンコウ目 Lophiiformes	アンコウ科 Lophiidae	<i>Lophius litulon</i> (Jordan)	黒島沖	2008.11.12	
カエルアンコウ		カエルアンコウ科 Antemariidae	<i>Phrynelox tridens</i> (Temminck et Schlegel)	長浦沖	2005.6.23	
アカグツ		アカグツ科 Ogcocephalidae	<i>Halietaea stellata</i> (Vahl)	ノサバ沖	2010.2.10	
カガミダイ		マトウダイ目 Zeiformes	マトウダイ科 Zeidae	<i>Zenopsis nebulosa</i> (Temminck et Schlegel)	兎鼻沖	2006.6.6
アカカマス	スズキ目 Perciformes	カマス科 Sphyraenidae	<i>Sphyraena pinguis</i> Günther	大浦港	2008.11.1	
クロサギ		クロサギ科 Gerreidae	<i>Gerres oyena</i> (Forsskål)	本郷港	2008.10.19	
ニベ		ニベ科 Sciaenidae	<i>Nibea mitsukurii</i> (Jordan et Snyder)	長浦沖	2006.2.2	
イトヨリダイ		イトヨリダイ科 Nemipteridae	<i>Nemipterus virgatus</i> (Houttuyn)	長浦沖	2006.10.20	
ツバメウオ		スダレダイ科 Ephippidae	<i>Platax teira</i> (Forsskål)	長浦沖	2006.4.21	
ニジアマダイ		アゴアマダイ科 Opistognathidae	<i>Opistognathus evermanni</i> (Jordan et Snyder)	長浦沖	2006.8.2	
インドアカタチ		アカタチ科 Cepolidae	<i>Acanthocephala indica</i> (Day)	長浦沖	2006.10.20	
ホシササノハベラ		ベラ科 Labridae	<i>Pseudolabrus sieboldi</i> Mabuchi and Nakabo	本郷港	2004.9.27	
アカササノハベラ			<i>P. eoethinus</i> (Richardson)	元浦港	2009.12.5	
テンス			<i>Xyrichtys dea</i> Temminck et Schlegel	葛島沖	2006.5.10	
バショウカジキ		マカジキ科 Istiophoridae	<i>Istiophorus platypterus</i> (Shaw et Nodder)	唐木崎沖	2009.7.17	
アカウオ		ハゼ科 Gobiidae	<i>Ctenotrypauchen microcephalus</i> (Bleeker)	水俣灘	2007/8/4	
ハオコゼ		カサゴ目 Scorpaeniformes	ハオコゼ科 Congiopodidae	<i>Hypodytes rubripinnis</i> (Temminck et Schlegel)	本郷港	2006.6.23
アカメバル			フサカサゴ科 Scorpaenidae	<i>Sebastes inermis</i> Cuvier	前島沿岸	2010.1.29
クロメバル			<i>S. ventricostus</i> Temminck et Schlegel	前島沿岸	2010.1.29	
トゲカナガシラ			ホウボウ科 Triglididae	<i>Lepidotrigla japonica</i> (Bleeker)	水俣灘	2004.9.3
アミモンガラ	フグ目 Tetraodontiformes	モンガラカワハギ科 Balistidae	<i>Canthidermis maculata</i> (Bloch)	長浦沖	2006.7.30	
ウスバハギ		カワハギ科 Monacanthidae	<i>Aluterus monoceros</i> (Linnaeus)	長浦沖	2009.10.28	

魚類

本研究は御所浦近海に生息する魚類相を調べ、新たに確認された 15 科 21 種を含む 26 種を図示した (図 2, 3)。また、魚類は採集された際の採集場所および採集日を記録した (表 1)。

新たに確認された魚類

八代海および御所浦島周辺海域より五智網漁で 14 種、巻き網漁で 1 種、釣りで 3 種、タチウオ漁で 1 種が捕獲された。五智網漁で捕獲された 14 種は、ナガサキトラザメ、シロザメ、マアナゴ (葉形幼生)、フウライウオ、キアンコウ、カガミダイ (幼魚)、ニベ、イトヨリダイ、ツバメウオ、ニジアマダイ、インドアカタチ、テンス、アカウオ、アミモンガラである。タチウオ漁でアカグツが捕獲された。巻き網漁および釣りで採集された 4 種はそれぞれ、バショウカジキ (幼魚) およびアカササノハベラ、アカメバル、クロメバルであった。これにより、八代海および御所浦地域近海の家産魚類は、鵜飼ほか (2006) で報告された魚類を含み軟骨魚類 13 種、硬骨魚類 192 種が確認されたことになる。

標準和名が変更した種

鵜飼ほか (2006) でアンコウ目イザリウオ科イザリウオ属イザリウオと表記していた種は 2007 年にアンコウ目カエルアンコウ科カエルアンコウ属カエルアンコウ (図 3-5) に標準和名が変更されている。また、メバルは 2008 年にアカメバル、クロメバル、シロメバルの 3 種に分類された。鵜飼ほか (2006) のメバルは胸鰭の軟条数を数えていないため、種が定かではないが、体色からアカメバルまたはシロメバルのいずれかであろう。

状態の良い標本が得られた種および同定の変更をした種

アカカマス (図 2-4) は胸鰭起部が第 1 背鰭起部よりもはるかに前方に位置する (益田ほか, 1984)。鵜飼ほか (2006) では胸鰭の位置が明確ではなく、図版の絵だけでは分類の根拠に乏しいことから、本研究では大浦港で採集した標本を図示する。

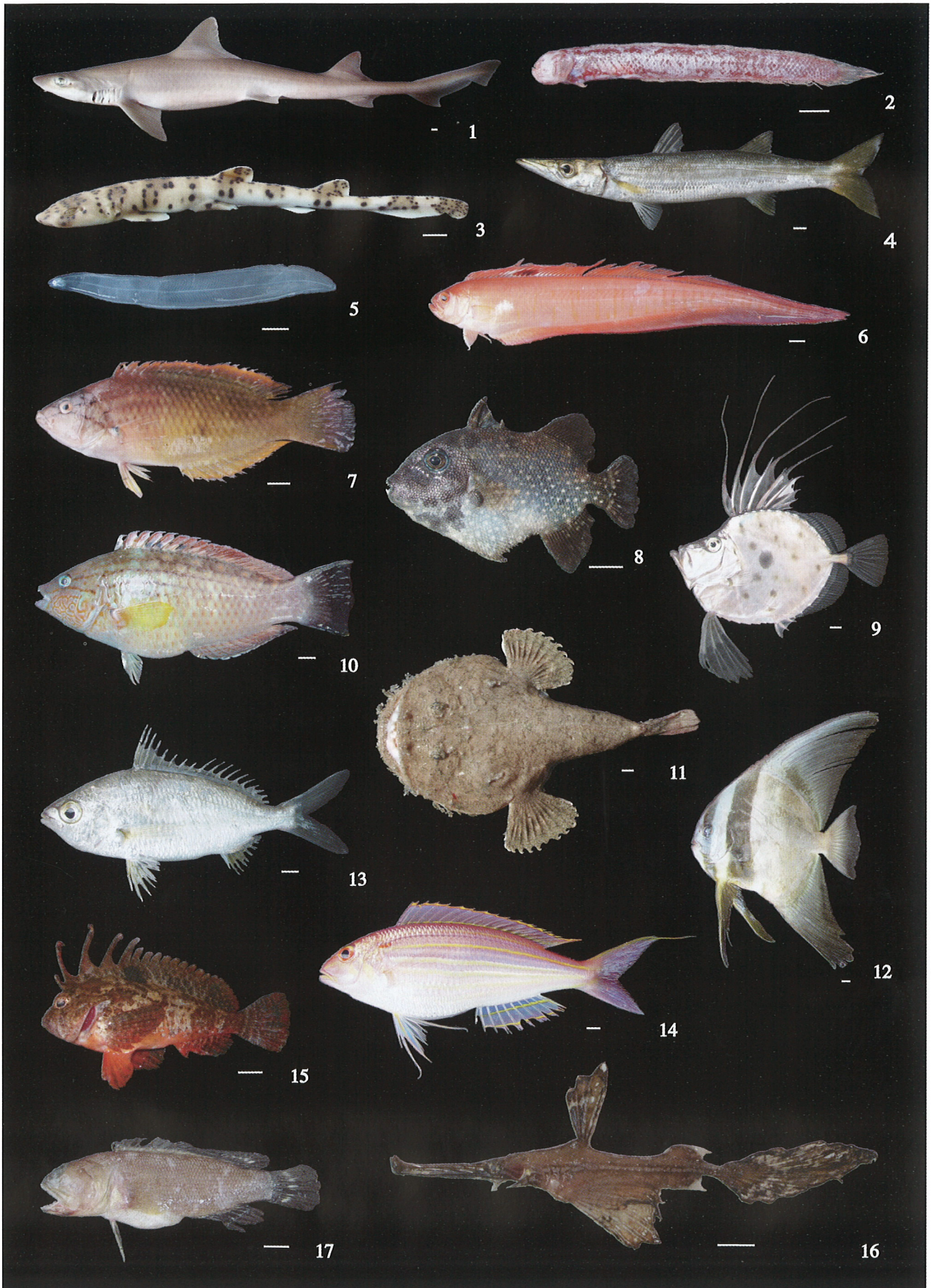


図2. 八代海および御所浦町周辺海岸の海産魚類（その1） スケールはすべて1cmを示す。
 1. シロザメ, 2. アカウオ, 3. ナガサキトラザメ, 4. アカカマス, 5. マアナゴ（葉形幼生）, 6. インドアカタチ,
 7. アカササノハベラ, 8. アミモンガラ, 9. カガミダイ（幼生）, 10. ホシササノハベラ, 11. キアンコウ,
 12. ツバメウオ, 13. クロサギ, 14. イトヨリダイ, 15. ハオコゼ, 16. フウライウオ, 17. ニジアマダイ

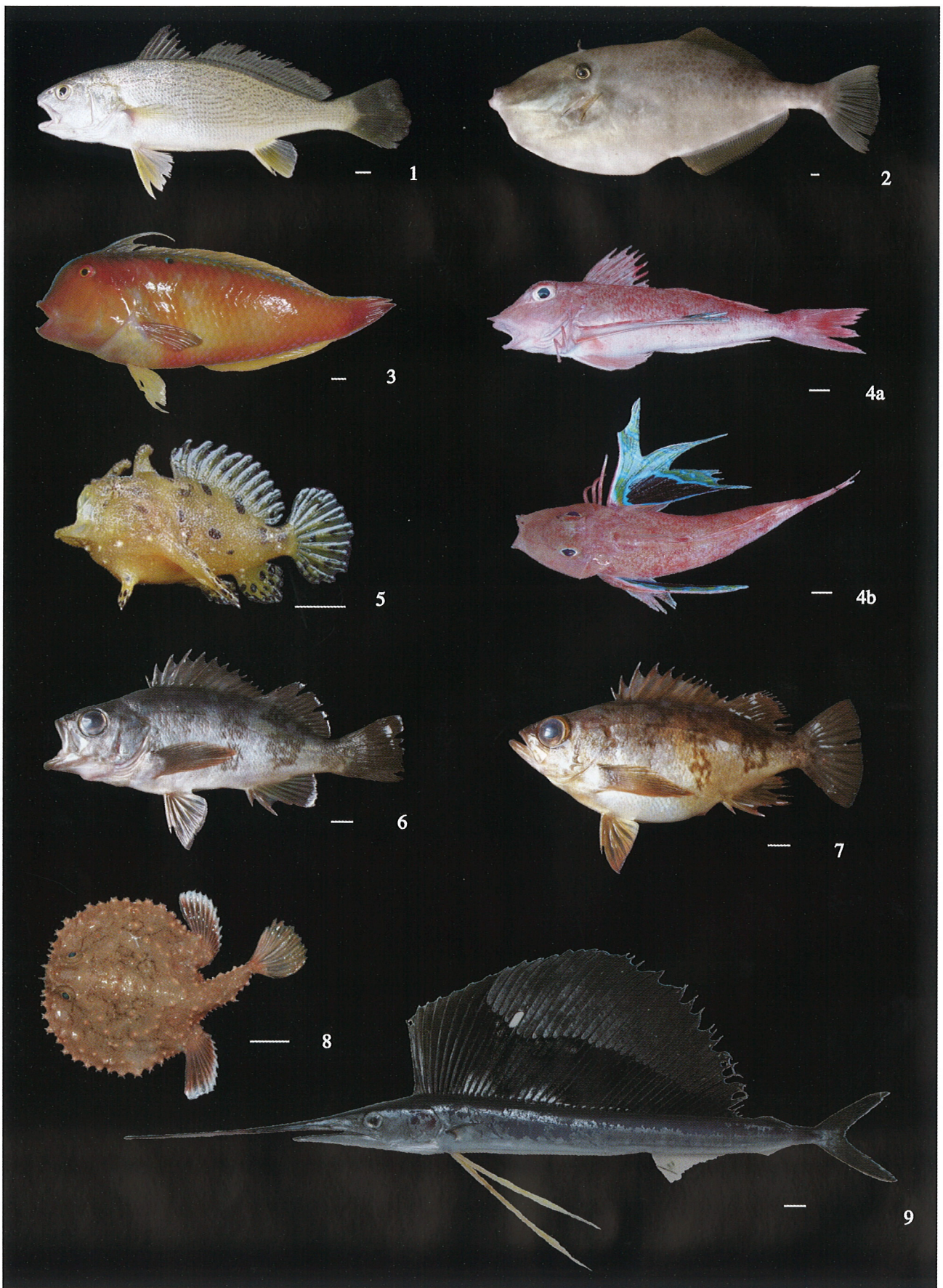


図3. 八代海および御所浦町周辺海岸の海産魚類（その2）. スケールはすべて1 cmを示す.

1. ニベ, 2. ウスバハギ, 3. テンス, 4a, b. トゲカナガシラ, 5. カエルアンコウ, 6. クロメバル, 7. アカメバル, 8. アカグツ, 9. バショウカジキ (幼魚)

ササノハベラは1997年にホシササノハベラとアカササノハベラの2種に分類されている。鵜飼ほか（2006）では益田ほか（1984）を基に分類を行ったことからこの2種を区別していない。本研究では鵜飼ほか（2006）で示したササノハベラをホシササノハベラ（図2-10）に、体側背部に白点が無く、眼下を通る黒いスジ状模様が胸ビレ基部に向かう特徴をもつササノハベラをアカササノハベラ（図2-7）に同定した。

ハオコゼ（図2-15）およびトゲカナガシラ（図3-4a, b）は鵜飼ほか（2006）では採集記録のみで図示していなかったことから、本研究で図示する。

謝辞

本調査報告にあたり、標本の採集および情報提供に協力して頂いた天草市の方々に感謝いたします。

引用文献

鵜飼宏明・長井雄一・友田玉洋（2006）：八代海および御所浦町周辺海域の海産魚類報告。御所浦白亜紀資料館報，（7），19-22, pls. 1-6.

益田一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫（1984）：日本魚類大図鑑. 465 p. 東海大学出版会.

（2010年2月10日受理）